



Ocean Family News

…… 海は楽しい 海はすばらしい 海は大切 ……

2015
Autumn
Vol.055

Contents

ハマゴウ



御用邸前、小磯の手前に、大きなハマゴウ群落が広がっていて、いまは花と実をみることができる。葉を揉むとユーカリのような香りがする。

事務局からのお知らせ

われら海洋族

三宅島サマースクール(レポート)

コラム

ケニアの海洋環境教育

いきもの便り

イベント紹介

リーダー・ボランティア募集 編集後記



事務局からのお知らせ

災害支援活動 第1回「見えない雲の下で」紙芝居上演会

浪江町出身の語り部・国分晶子さんによる

◇ 日時:9月20日(日) 17:30~19:00 ◇ 場所:葉山セミナーハウス

◇ 参加:費無料(参加申込み受付中)

《浪江町出身の故 佐々木ヤス子さんが東日本大震災から始まった逃避行体験を綴った自叙伝「おそろしい放射能の雲の下で」。これを基に広島のみち物語制作委員会メンバーが制作した紙芝居を、国分晶子さんが語ります。》

キャンプ(自然体験活動)リーダー養成講座 参加者募集

10月24日(土)~25日(日)

11月14日(土)・15日(日)・28日(土)・29日(日)

※11月は、指定日内から1日以上実習選択

◇参加対象◇ 自然体験活動に興味のある18歳以上の学生・一般

◇参加定員◇ 20名(先着順)

◇参加費◇ 15,000円(傷害保険料含む)

◇申込締切◇ 10月15日(木) 規定の申込書にて

★専門講師による「安全管理」などの講座開催。

11/28(土)~29(日)
1泊2日

初めての
キャンプ体験

参加キッス同時募集♪



三宅島サマースクール 2015

茂木 みかほ（もっきー）

三宅島の大自然とふれあうサマースクールが、今年も開催されました。私はスタッフとして、8月3日～8日までのビギナーコースに参加させていただきました。

今回は、小学校4年生～中学校2年生までの計25人の子どもたちが参加してくれました。みんな海が大好きな子どもたち。三宅島で一緒に活動できることを私もととても楽しみにしていました。

三宅島では、毎日天気にも恵まれ、海でたくさん遊び、そして学びました。スキューバダイビングの練習では、潜るコツを教えてもらうとぐんぐん上達して、あっという間に水深3～4mのところまで行けるようになった子がたくさんいました。ドルフィンスイムの練習では、イルカに興味を持ってもらう泳ぎ方を教えてもらい、みんなすぐにマネをしてできるようになっていました。波当たりが強い浜では、エントリーするのにちょっと勇気が必要ですが、バディで協力して海に入り、足のつかないところでもスイスイ泳いでいました。一日中、とにかく海でよく泳ぎ、夜はさすがにみんなお疲れの様子でしたが、まだ終わりではありません。その日に観察した魚を図鑑で調べるのです。みんなで図鑑を見ながら、今日見た魚の名前をチェックしていきます。自分の見た魚が見つかるまで調べまくる子、特に感動した魚の絵を思いを込めて描く子など、いろいろな子がいて面白かったです。最終的に、今回のサマースクールで観察することができた魚は、全部で85種類。すごいですね！



そして、特に楽しみにしていた子が多かった御蔵島ドルフィンスイムでは、念願のミナミハンドウイルカと泳ぐことができました！行きの船の中からみんなテンション高すぎて、イルカに会う前に疲れちゃうのでは？と心配していましたが、そのおかげで船酔いする子がほとんど出ずに済みました。海に入ると、イルカの方から興味を持って近づいてきてくれたり、赤ちゃん連れの親子イルカに会うこともでき、みんな大興奮。中には、アオウミガメに会えた子たちもいて……。心に残る貴重な体験ができ、本当によかったです。





われら海洋族

また伊ヶ谷では、お楽しみの飛び込みを実施。みんな思い思いのスタイルで飛び込みました。個性的なポーズを決める子もいれば、終始同じポーズで貫き通す子もいて、見ていて楽しかったです。

海だけではなく、陸では阿古地区の噴火跡や太路池、アカココ館なども見学しました。運良く、2年に1度開催される島の伝統行事「富賀祭（通称、けんか祭り）」も見ることができました。

最初は緊張していた子たちも、さまざまな体験をしていく中で、徐々に自分らしさが出てきて、見違えるほどたくましくなりました。慣れない集団生活の中では、いつもとは違い、我慢しなければいけないことも多かったと思います。でもその中で、協力することや、周りの人のことを考えることなど、大切なことを学べたと思います。

5泊6日という短い期間でしたが、何か自分の中で変化が起きたとしたら、それはとても大きな収穫だと思います。

最後に、私にとってサマースクールはずっと憧れでした。オーシャンファミリーのお手伝いをしているスタッフの中には、子どもの頃にこのサマースクールに参加していた方が何人もいて、羨ましいなあと感じていました。サマースクールの創設者であるモイヤー先生にもお会いしてみたかった！
とにかく、子どもの頃に、こんな素晴らしい海の体験ができるなんて、本当に恵まれています。没頭できるものを早く見つけれられるのは幸せなことだと思います。好きなことがあれば、人生はどんどん楽しくなる！

キラキラした目のまま帰っていった25人の子どもたちが、この先どんなふうに成長していくのか楽しみです。きっと三宅島での体験が生きてくる時が訪れることでしょう。また、海で会えるのを楽しみにしています。





時は Polepole と「流れる？」

杉原淳夫

現在オーシャンファミリーにて研修をさせて頂いている杉原です。私は研修に参加する直前まで青年海外協力隊という制度を使いケニアで2年間で環境教育活動を行っていました。

ケニアはコースト側、タンザニアとの国境近くにあるキシテ・ムプングティ海洋公園にて活動を行いました。配属先のキシテ・ムプングティ海洋公園(Kisite Mpunguti Marine Park)は、海岸から6km先のインド洋内に位置しています。当海洋公園は陸地から離れているため、土砂の流入や生活排水の影響を受けにくく、美しいサンゴ礁と多種多様な海洋生物が生息、イルカの群れに出会う確率も高く、ケニアの海洋公園の中で最も多い入園者数を誇っていました。



そこで、近隣小学校で知の移転型・理論型の巡回授業を実施し、子どもたちやその周辺の大人を巻き込むことから始めました。徒歩圏内の小学校のクラブ活動時間を使わせてもらい、隔週での授業を実施しました。授業は基本的にプロジェクターを用いて行い、写真、動画、音楽や絵本等を多用して楽しみながら学べるコンテンツを提供できるよう努めていました。



【巡回授業の様子】

今回はそんなケニアの時間の話をさせていただきます。

ケニアの国語 スワヒリ語には“Pole Pole(ポレポーレ)”という「ゆっくりと」の意味の言葉があり、ケニア人はこの言葉が大好きです。この言葉を使ったこんなことわざがあります。

“Haraka haraka haina Baraka”

＝急げ急げ には 神の祝福 が無い。＝急ぎすぎると天の語りかけが聞こえず、事をし損じる。日本語では急がば回れ？、焦らずゆっくり？的な意味だと思います。

実際に職場においても始業時刻はあってないようなもの、昼休憩は2時間ぐらい、会議時間は3時間越えが当たり前など、そのポレポーレ文化は根強い。

日本人の私がケニアで生活しているとこのポレポーレ文化に翻弄されてしまいます。その一例が公共交通機関での待ち時間。単～中距離を移動する際に使う「マタツ」という乗り物ですが、この乗り物、運行スケジュールが決まっておらず、乗客が揃って、且つ運転手さんの用事が済み次第、発車します。なので、出発時間が全く読めません。私の住んでいた村はかなり田舎だったので1時間待ちは当たり前、3時間待ったこともあります！



こんなところで3時間待ったりします

そんな待ち時間に悶々としながら物思いに耽っていると、新たな発見があります。

本来日本人には、時間は「流れる」という感覚があると思います。わたしもそのような感覚を持っていました。

何時間も待つことが日常のケニアでは、「待つことにこれだけの時間を費やしている私は、すごい時間をムダにしているのだろうか。」と、不安になってきます。

しかし、人間には環境に適應する能力が備わっていますので、ケニアで自分を正当化できる思考を模索します。



【マタツ内部の様子】

…そもそも、時間が過去から未来に向けて流れているというのは感覚的な話で、偏った考え万じゃないのか？と とりあえず常識を否定してみます。

時が「過ぎる」、時が「流れる」と、あたかも不可逆的なような言い方をしているけど実際は違うのではないのでしょうか。なぜなら、過去に「戻る」こともできなければ、同じように未来に「進む」事もできず、そこはフェアなはずで。

例えば、時計。

時間が経過すると数字が増えていくのは誰が決めたのでしょうか。もしかしたら未来に希望を持った人が決めたのかもしれませんが。でも、時間が経過すると数字が減るという世界があってもよかったのではと思えてきます。

時間が「戻る」「進む」という言葉も、「負の遺産」「明るい未来」も過去は負、未来は正という感覚を植え付けている偏った表現です。

そういう偏りがあることを、ポレポーとした時間の中で気付くのです。陳腐な言葉にはなりますが、「今」しかない。誰もが子どもの時にそうであったように、時間は「流れる」んじゃない、「今」があるだけだ。ケニアでの待ち時間は、そう私に教えてくれました。



そんな気づきを得て帰国したわたしは、帰国祝いに誘って頂いた先輩との待ち時間に10分遅れ、怒られることになるわけですが、時間の感覚に取り戻すにはもう少し時間がかかりそうです。

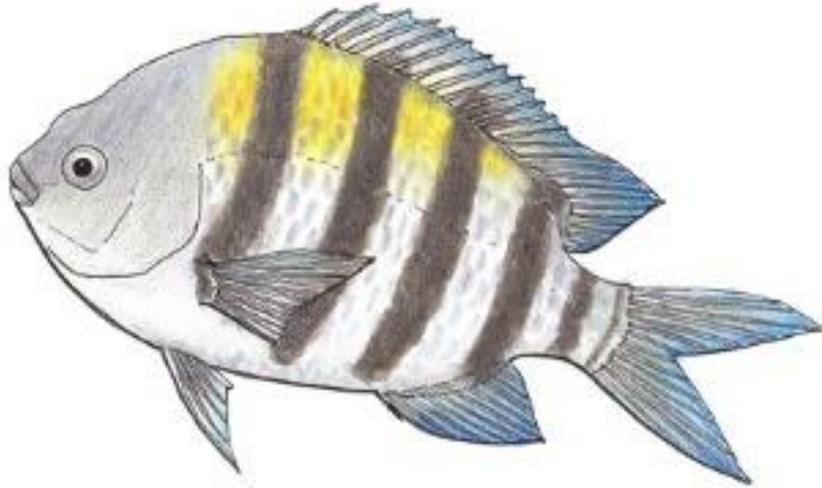
原稿大募集中♪

興味のある方は、事務局（☎046-876-2287 ✉info@oceanfamily.jp）までお問合せ下さい。



いきもの便り

オヤビッチャ



スズキ目スズメダイ科。

黒い縞模様と黄色いアクセントが美しいスズメダイの仲間。

ロクセンスズメダイによく似るが、縞の数で見分けることができる。

温暖な地域の浅い岩場にいるので、シュノーケリングや漁港の岸壁から海を覗くと見ることができる。

食性は雑食。なんでもよく食べる。

焼き魚などの食用にされることもある。

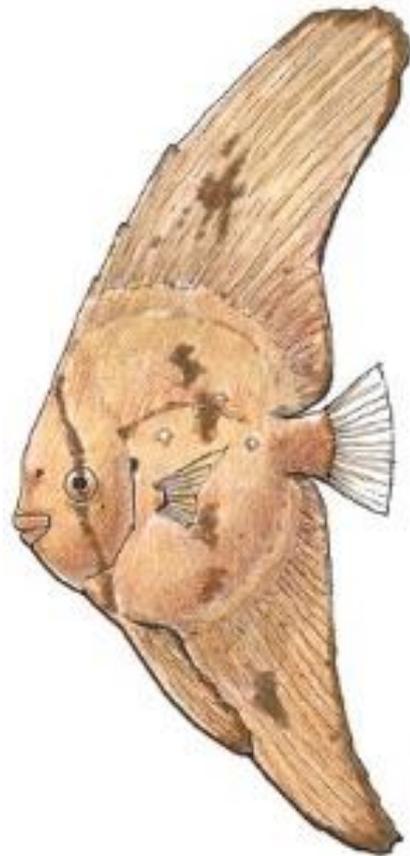
ナンヨウツバメウオ

スズキ目マンジュウダイ科

通常、沖縄より暖かい地域に生息するが、幼魚は黒潮にのって岩手県ぐらまで見られることもある。関東では水温が下がると死んでしまう死滅回遊魚の一種。

幼魚は体が茶色く、薄いため枯葉のようにヒラヒラと泳ぐ姿が特徴的。

成魚は白地に黒の縞模様で、ヒレは黄色くなり幼魚とは全く異なる。



(イラスト・吉田健太郎)



イベント案内

詳細は、ホームページ (<http://oceanfamily.jp>) のプログラムカレンダーや、秋の自然体験プログラム案内 (10・11・12月) 号をご覧ください！

【ファミリー向け】3歳のお子様から参加可

☆ファミリーでSUPチャレンジ！

土曜日:10/3・10・17 日曜日:10/4・11 祝日:10/12 10:00~12:00

☆シーカヤック&磯の生きもの観察！

土曜日:10/3・10・17・31 11/7 日曜日:10/4・11 11/1・8 祝日:10/12
10:00~12:00

☆スノーケリング&海中生物観察！

土曜日:10/3・10・17 日曜日:10/4・11 祝日:10/12 10:00~12:00

☆ヨット乗船体験！ B&G 江の島海洋クラブ交流事業

江の島で開催 10/4(日) 9:30~16:00

☆野あそび教室！

～秋からスタートの新規企画。自然の中で、自分たちで薪を割り、火を起こし、毎回、野外料理をつくります。～

11/7・21・22 12/5・20 10:00~14:00

【小学生向け】各プログラムの詳細は、別途、要項があります。

☆初めての1泊2日キャンプ体験☆

～テント設営から、火起こし・食事作りまで、何でも自分たちで完結します～

11/28(土)~29(日) 1泊2日

場所:三浦ふれあいの村と周辺の森、海岸

☆冬休み企画 冬の三浦半島の海・川・森ネイチャーハイキング☆

～自然豊かな三浦半島の海、川、森を歩きながら、そこに生息する生きものを観察します。薪割り、火起こし、野外炊飯にも挑戦！～

12/26(土)~28(月) 2泊3日

場所:三浦ふれあいの村と周辺の森、海岸、大楠山と前田川、葉山セミナーハウス周辺

主催: NPO 法人教育支援協会ネイチャーキッズ事務局

【大人向け】1年中海を楽しむことに挑戦！

☆スタンドアップパドルボード

平日も休日も、個人でもグループでも・・・SUPにトライしませんか。

初めての方の体験あり、スクールもあります。

☆シーカヤック

平日も休日も、個人でもグループでも・・・シーカヤックにトライしませんか。

初めての方の体験あり、スクールもあります。ツーリングを楽しみたい方も。

☆キャンプリーダー養成講座 詳細は、別途、要項があります。まずはチャレンジ！

～キャンプノウハウをしっかりと学びます。どなたでも参加可。自然の理解や安全管理など、自然の中で活動するための基本を座学、実習で学びます。災害時の対応のためにこの機会に学んでみませんか。



リーダー・ボランティア募集

2015年10月～12月

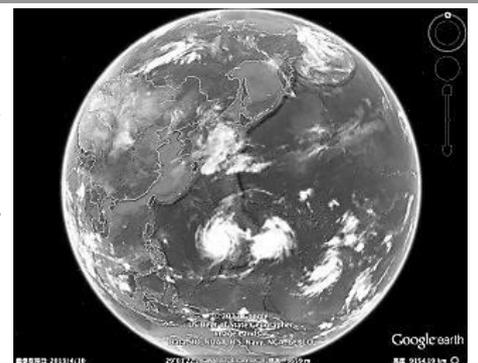
開催日	プログラム	参加条件ほか
10/3(土)	B&G 江の島カヤック交流事業 葉山でカヤック体験	集合：葉山セミナーハウス 対象： 子どもが好きな方・ NEAL (CONE) リーダー・ ライフセーバー・ ダイビングインストラクター・ シーカヤックインストラクター ※詳細は事務局まで お問い合わせください。
10/4(日)	B&G 江の島 交流事業 江の島でヨット乗船	
10/17(土)	葉山マリンキッズ(シーカヤック漕艇と海の生きもの観察)	
10/18(日)	海・川・森のファミリー教室 (森の木の実探しと縄文おやきづくり)	
10/31(土)	海辺の自然体験活動ボランティア指導者研修 (川の生きもの観察指導法)	
11/14(土)	葉山マリンキッズ(源流の自然と川の生きもの観察)	
11/15(日)	海・川・森のファミリー教室 (縄文火起こしと塩づくり、焼き物いろいろ)	
11/28(土)	海辺の自然体験活動ボランティア指導者研修 (森づくり体験指導法)	
11/28(土) ～29(日)	初めてのキャンプ体験 in 三浦 (1泊2日) 小学生の宿泊プログラム	
12/12(土)	葉山マリンキッズ(海岸の漂着物と海の生きもの観察)	
12/13(日)	海・川・森のファミリー教室 (キノコの観察と栽培準備、キノコ料理)	
12/19(土)	海辺の自然体験活動ボランティア指導者研修 (冬の森の自然観察法)	
12/26(土) ～28(月)	ネイチャーキッズ・三浦 2泊3日 海・川・森ネイチャーハイキング	

ビーチクリーン(オーシャンファミリービーチクリーンクラブ:OBCC)

10/4(日)	11/1(日)	12/6(日)	定期清掃	どなたでも	大浜海岸 (集合：葉山公園 芝生広場)	10:00～11:30 (予定)
---------	---------	---------	------	-------	---------------------	------------------

Postscript

真夏に雨が少なかったら、ここにきて雨続き。少なからず台風が影響している。台風とは、最大風速約 17m/s 以上の熱帯低気圧のうち、東経 180 度以西の北西太平洋および南シナ海にあるものをいう。同じ規模でも進む区域によってサイクロンやハリケーンと呼ばれる。台風の語源は、江戸時代に熱帯低気圧を中国にならって颶風(ぐふう)といい、その後、颶風という言葉が生まれ、漢字が書きかえられて '台風' となったそう。その由来は、ギリシャ神話の巨大な怪物テュポン(Typhon)や、ペルシャ語で嵐を意味する(Tufan)などがあるとのこと。つまり当て字がルーツだというのはちょっと意外だった。(み)



発行者:NPO法人オーシャンファミリー海洋自然体験センター 〒240-0116 神奈川県三浦郡葉山町下山口1741
 TEL:046-876-2287 FAX:046-876-2297 E-mail: info@oceanfamily.jp HP: http://oceanfamily.jp/

Copy Right Ocean Family Club. All Right Reserved.